理当時 選辺 (日本) 1 TOELC (2400点相当の得点を取ることができる。			等専門学校	開講年度	平成31年度 (2	2019年度)	授業	科目	英語運用	能力演習	
製造形版 海田 単位の増加と単位数 学修単位、1 相談学科 1 1 1 1 1 1 1 1 1	科目基礎	計報				-					
### 中国			0010			科目区分	_	-般 / 必何	多		
###				演習					1		
### Prundamental Science in English 1理工系学生のための基礎失語 1』 ①山太一側、SEIBIDO 世別登目標 1. TOEIC (1-400元前半の存成を制定を発展)の機体的所能を英語で表現することができる。			_				専	₹1			
選出											
1)連目標				nental Science in	n English I 理工系学	生のための基礎す	基礎英語Ⅰ』亀山太一他、			0	
			渡辺 眞一								
・ 學年祭科における数式・自然限等等の基本的内容を装置で表現することができる。 レーブリック 「理想的な別達レベルの目安 TOEIC400点以上の利点を取ることができる。 ・ 大物的な実施専用を支入る目標があり欠法を表現としている。 「理系教科の基本的内容を表面で表現を表現している。」 理系教科の基本的内容を相手に伝わることができる。 「理系教科の基本的内容を相手に伝わることができる。」 理系教科の基本的内容を相手に伝わることができる。 「理系教科の基本的内容を相手に伝わることができる。」 理系教科の基本的内容を相手に伝わることができる。 要教育の主要な文法、表現をはして用いて表現することができる。 理系教科の基本の内容を表面で表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表	到達目標	<u> </u>									
理想的公司進レベルの自安 大割地レベルの自安 大割地レベルの自安 大割地レベルの自安 大割地レベルの自安 大割地レベルの自安 大割地 大割地レベルの自安 大割地である。 大きない。 大きな	2. 理系教 2. 全般的	科における な英語運用	数式・自然現象	象等の基本的内容	を英語で表現するこ 見)を身につける。	ことができる。					
	<u>レーフ・</u>	リック		田相的 + 2 列達 1		煙進的な到達しべまの日安					
世系教科の基本的内容を正確に失調できる。									TOEIC400点相当の得点を取るる		
2	評価項目1						「扱るこ			黒を取る に	
対対電で学習するが法・表現を正 対対電で学習するで法・表現をほ 対対電で学習するで法・表現を正 対対の到達目標項目との関係 取料課程教育目標、 JABEE学報教育到達目標 SE① 歴史・文化・日本文学 (国語) 、外国語を学び、多様な文化を理解できる。 取料課程教育目標、 JABEE学報教育到達目標 SE② 歴史・文化・日本文学 (国語) 、外国語を学び、多様な文化を理解できる。 取料課程教育目標、 JABEE学報教育到達目標 SE② 歴史・文化・日本文学 (国語) 、外国語を学び、多様な文化を理解できる。 取料課程教育目標、 JABEE学報教育到達目標 SE② 東タ分野の対角で文を含め、東文を誘解し、日本語での内容部別ができる。 取料課程教育目標、 JABEE学報教育到達目標 SE② 東タ分野の対角の対象を開発した。これで、全機の対立できる。 取料課程教育目標、 JABEE学報教育到達目標 SE② 美なの自然を理解した上で、その概算を実施し、日本語での内容部別ができる。 取料性数百種様、 JABEE学報教育到達目標 SE② 美ない表面に対してきる。 東条教性に対る数式・自然現象等の基本的英語表現よび阿達するど法を習得することで、全機の対立会語ができる。 東京とが図の音楽を実施し、表語ができる。 東京とが図の音楽を対象との表語ができる。 東京とが図の音楽を対象との表語ができる。 東京とが図の音楽を対象との表語ができる。 東京とが図の音楽を対象との表語ができる。 東京とのの音楽を表しましまができる。 東京と明の主なの主なの主なの表記を表記を表記を表面に対している。 中国の主なの主なの主なの主なが表現を表面に対していましまが表現を表面に対している。 東京と明の主なの主なの主なの主なの主なの主なの主なの主なの主なの主なの主なの主なの主なの	評価項目2			理系教科の基本 語で表現するこ	的内容を正確に英 とができる。	わるように英語で表現することが			理系教科現するこ	の基本的内容 とができない	を英語で表
取対課程教育目標。 JABEF学副教育到達目標 SE6) 歴史・文化・日本文学(国語)・外国語を学び、多様以文化を理解できる。 東対科理教育目標。 JABEF学習教育到進目標 SE6) 現分野の技術変文を含め、英文学祭別、日本語での内容部明ができる。 東対科理教育目標。 JABEF学習教育到進目標 SE6) 現所の目的と内容を理解した上で、その概要を英語で記述できる。 東文科理教育目標。 JABEF学習教育到達目標 SE6) 知音・研究の目のと内容を理解した上で、その概要を英語で記述できる。 教育方法等 理系教科における数式・自 税事等の基本が表話ができる。 「理系教科における数式・自 税事等の基本が表話が表現の表話である。 「世界教科における数式・自 税事等の基本が表話を理解したして、テルの信息を目指す。 「日本を図る。テキストの書意理の書をすることで、全般的文英語で行うリスニング・スピーキング店面によって実践り英語連用能力の育成を目指す。 「日本の JA エー・エー・エー・アー・スピー・スクルー・アー・スト・ファー・スト・スト・カー・	平価項目3	3		教科書で学習す確に用いて表現。	る文法・表現を正 することができる	教科書で学習する文法・表現をほ ば正しく用いて表現することがで			教科書でいて表現	学習する文法 することがで	・表現を用きない。
取対課程教育目標。 JABEF学副教育到達目標 SE6) 歴史・文化・日本文学(国語)・外国語を学び、多様以文化を理解できる。 東対科理教育目標。 JABEF学習教育到進目標 SE6) 現分野の技術変文を含め、英文学祭別、日本語での内容部明ができる。 東対科理教育目標。 JABEF学習教育到進目標 SE6) 現所の目的と内容を理解した上で、その概要を英語で記述できる。 東文科理教育目標。 JABEF学習教育到達目標 SE6) 知音・研究の目のと内容を理解した上で、その概要を英語で記述できる。 教育方法等 理系教科における数式・自 税事等の基本が表話ができる。 「理系教科における数式・自 税事等の基本が表話が表現の表話である。 「世界教科における数式・自 税事等の基本が表話を理解したして、テルの信息を目指す。 「日本を図る。テキストの書意理の書をすることで、全般的文英語で行うリスニング・スピーキング店面によって実践り英語連用能力の育成を目指す。 「日本の JA エー・エー・エー・アー・スピー・スクルー・アー・スト・ファー・スト・スト・カー・	学科の至	」達目標耳	頁目との関係	—— <u>————</u> 系							
関係	享攻科課程 享攻科課程	呈教育目標、 呈教育目標、	JABEE学習教 JABEE学習教	女育到達目標 SE③ 女育到達目標 SE④	専攻分野の技術英調査・研究の目的	文を含め、英文を と内容を理解した	と読解し、	日本語で	の内容説明]ができる。	
向上を図る。テキスト名無外容を学習することで英語文献講読・英語研究発表の基礎的能力の育んを図る。デキストの問題を演習である。	教育方法	5等									
おける基本的英語表現の習得をすすめ、その後の解説でさらに内容の理解を深める。活動内容に応じてベアルプワークを利する。自宅では別途指示する課題に取り組み、適宜提出する。また、理解状況に応じて受業計画 選出物の期限を厳守すること。 提出物の期限を厳守すること。 提業力イタンス	既要		向上を図る	ら。テキスト各課[7	内容を学習すること	で英語文献講読・	英語研究第	発表の基準	楚的能力の	育成を目指す	。また、適
受業計画 週 授業内容 週ごとの到達目標 第四人 投業力イダンス リスニング活動 現場 大き はいての説明を理解 2週 L1 Part 1-2 数と計算1 3週 L1 Part 3-4 数と計算2 to不定詞 5週 L2 Part 3-4 図形1 関係代名詞1 6週 L2 Part 3-4 図形2 関係代名詞1 6週 L2 Part 5-L3 Part 1 図形3、物質の状態1 分数を使った表現 7週 中間試験 3週 試験解説 リスニング活動 9週 L3 Part 2-3 前置詞+関係代名詞2 10週 L4 Part 1-2 関係副詞 関係副詞 日間 関係代名詞2 11週 L4 Part 3-L5 Part 1 グラフと関数2、人体1 部分否定 関係副詞 日記	受業の進め	か方・方法	おける基本ループワー	、的英語表現の習行 ・クを多用する。 F	导をすすめ、その後	の解説でさらに内	容の理解を	を深める。	。活動内容	に応じてペア	ワーク・ク
週 授業内容 週ごとの到達目標 授業が必め方、テスト、テキスト、シラ/ リスニング活動 投業が必め方、テスト、テキスト、シラ/ リスニング理解 2週	主意点		提出物の期	限を厳守すること	<u>L</u> .						
1週 授業ガイダンス	受業計画	<u> </u>									
1週 「ステンナク活動			週 招	受業内容			週ごとの	到達目標			
### And	後期	3rdQ					授業の進め方、テスト、テキスト、シラバスないての説明を理解 リスニング理解			(スなどに	
### Stand			2週 L	1 Part 1-2			数をたずねる疑問文				
### L2 Part 3-4 関係代名詞1 5週			3週 L	1 Part 3-4		to不定詞	7. 不定詞				
### Bill			4週 L	2 Part 1-2		関係代名詞1					
後期			5週 L	2 Part 3-4		関係代名		APS 4			
8週 試験解説						図が3、物質の状態1 分数を使った表現					
8週 リズニング活動 物質の状態2 前置詞+関係代名詞 10週			==								
10週											
10週 L4 Part 1-2 関係副詞 グラフと関数2、人体1 部分否定 11週 L4 Part 3-L5 Part 1 がう否定 人体2 関係副詞の非制限用法 13週 L5 Part 4-L6 Part 1 現在完了 現在完了 14週 L6 Part 2-4 電気・電子2 make+O+C 15週 定期試験 16週 試験解説 Eデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標		4thQ	9週 L	3 Part 2-3		前置詞+関係代名詞					
4thQ 12週 L5 Part 2-3 人体2 関係副詞の非制限用法 13週 L5 Part 4-L6 Part 1 現在完了 電気・電子1 現在完了 14週 L6 Part 2-4 電気・電子2 make+O+C 15週 定期試験 16週 試験解説 Eデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標			10週 L	4 Part 1-2		関係副詞					
4thQ 12週 L3 Falt 2-3 関係副詞の非制限用法 人体3、電気・電子1 現在完了 14週 L6 Part 2-4 電気・電子2 make+O+C 15週 定期試験 16週 試験解説 Eデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標			11週 L	L4 Part 3-L5 Part 1			部分否定				
15週 L5 Part 4-L6 Part 1 現在完了 電気・電子2 make+0+C 15週 定期試験 16週 試験解説 Eデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標			12週 L	L5 Part 2-3			関係副詞の非制限用法				
14週 L6 Part 2-4 make+0+C 15週 定期試験 16週 試験解説 Eデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標			13週 L	5 Part 4-L6 Part		現在完了					
16週試験解説Eデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標											
Eデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標											
		<u> </u>									
	<u>=デルニ</u>]アカリ=	トユラムの学	学習内容と到達	目標					1	
7類 プサ 子省内谷 子省内谷の到達日標 国達レベル)類		分野	学習内容	学習内容の到達目	票				到達レベル	授業週

評価割合

	試験	課題・小テスト	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	30	0	0	0	0	100
基礎的能力	70	30	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0